

勝央町

第165号

議会 だより

Shoo-cho, Okayama



目次

- 2 第2回定例会議案審議報告
第1回臨時会議案審議報告
- 3～10 7人の議員が町政を問う
- 11 議会の動き・議会用語
- 12 勝央町パワースポット紹介・編集後記



町内一斉環境美化の日(中石生地区)

勝央町マスコット
キャラクター
きんとくん

令和5年8月1日発行

編集／町議会広報編集委員会

発行／岡山県勝央町議会

発行部数／4,200部

〒709-4316 岡山県勝田郡勝央町勝間田201

☎(0868)38-1754

e-mail: gikai@town.shoo.okayama.jp



令和5年

(会期 6月5日～9日)

第2回定例会議案審議報告

専決処分

●全員賛成で
原案承認

議案第30号

専決処分の承認を求めることについて

「令和5年度勝央町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)」

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2千951万円を追加し、総額を2千986万9千円とするもの

規約変更

●全員賛成で
原案可決

議案第43号

勝英衛生施設組合規約の変更について

協議事項等が減少している状況から、組合議会の組織について変更等を行うもの

人事案件

●全員賛成で
原案同意

議案第31号～41号

勝央町農業委員会委員の任命について

小矢田 池崎 寛治 氏	岡 青井 五男 氏
植月東 井上 彰 氏	植月中 國政 秀吉 氏
豊久田 石原 保博 氏	曾 井 小林 充 氏
石 生 藤本 昌一 氏	石川 裕之 氏
福 吉 笠尾 尚俊 氏	治郎丸雄一 氏
下町川 有本 統 氏	

補正予算

●全員賛成で
原案可決

議案第44号

令和5年度勝央町一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6千972万5千円を追加し、総額を77億5千650万8千円と定めるもの

議案第45号

令和5年度勝央町介護保険特別会計補正予算(第1号)

保険事業勘定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ302万2千円を追加し、総額を12億6千757万4千円と定めるもの

議案第46号

令和5年度勝央町下水道事業会計補正予算(第1号)

収益的支出に84万6千円を追加し、総額を8億7千859万3千円とするもの

変更請負契約

●全員賛成で
原案可決

議案第42号

令和4年度(繰越)文化財保護事業 登録有形文化財旧勝田郡役所庁舎耐震補強等工事の変更請負契約をなすことについて

契約名 令和4年度(繰越)文化財保護事業

登録有形文化財旧勝田郡役所庁舎耐震補強等工事

当初の請負金額 金 1億7千314万円

今回の変更による増額 金 3千138万3千円

当初の工期 契約締結の日から令和5年8月31日まで

変更後の工期 契約締結の日から令和5年12月31日まで

契約の相手方

岡山県勝田郡奈義町荒内西130番地の2

株式会社森藤工業 代表取締役 森藤 修平

報 告

報告第2号

令和4年度勝央町一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について

報告第3号

令和4年度勝央町一般会計予算事故繰越し繰越計算書の報告について

報告第4号

令和4年度勝央町下水道事業会計予算繰越計算書の報告について

報告第5号

専決処分の報告について(損害賠償の額の決定及び和解に関するものについて)



令和5年

(会期 5月16日)

第1回臨時会議案審議報告

専決処分

●全員賛成で
原案承認

専決処分の承認を求めることについて

議案第26号

勝央町税条例等の一部を改正する条例

議案第27号

勝央町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

議案第28号

令和5年度勝央町一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ848万4千円を追加し、総額を75億5千348万4千円と定めるもの

補正予算

●全員賛成で
原案可決

議案第29号

令和5年度勝央町一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億3千329万9千円を追加し、総額を76億8千678万3千円と定めるもの



町政を問う

一般質問



勝中央マスコットキャラクター
きんとくん

議員が町の執行部に対してさまざまな角度から町政について質したうえで、政策提言することです。

ページ	議員名	質問内容
4	石浦 長年	1. 不登校に対する保護者への支援は 2. 熱中症予防対策は ★地球温暖化対策の地方公共団体実行計画推進について ★「災害対策本部」の業務継続性確保のための非常用電源について ★自治会等のデジタル化について
5	片山 謙三	1. 自転車ヘルメットの着用普及促進を 2. あいさつ運動の取り組み普及に向けさらなる啓発を ★町内岡地区国道179号線交差点付近から東にかけて降雨時の道路冠水調査と早急な対応を ★行政、教育はAI（人口知能）をどのように活用していくのか
6	水島 孝	1. 給食費とランドセルの無償化はできないか 2. タクシー利用券の配布はできないか ★農業資材ごみの処分費用について問う ★GPS発信機貸出について問う ★ふるさと納税について問う ★農事組合法人・営農組合への経費に対する補助金について、また大雪被害に対する補助金等について問う ★スクールバス停留所の増設について問う ★コロナウイルス感染症5類移行後の啓発活動等について問う
7	森本 孝道	1. 小・中学校の環境整備を進めてほしい 2. 急激な天候変化へ町独自の対応は ★上下水道部を役場内に設置してはどうか ★北部運動公園の整備について問う ★町道及び町管理道等の点検について
8	浅田 剛至	1. 有機農業推進の取り組みは 2. 隠れ待機児童は解消されたのか ★今後のコロナ対応について
9	末管 満江	1. 企業連と協力して脱炭素に向けた取り組みを 2. 生ごみ減量対策に補助金を ★愛育委員と栄養委員を兼務することはできないか ★栄養指導室（調理室）の利用を ★町道の整備について ★奨学金の創設について
10	丸尾 彰	1. 地域医療と自治体の在り方は 2. 児童・生徒のLGBTQに対する教育は ★勝中央中学校の校則・生徒心得は変わったか

議会だよりには2問まで掲載し、掲載できなかった質問は★で表記しています。

質問 不登校に対する保護者への支援は



石浦 長年 議員

既に取り組んでいる

答弁

問 教育委員会が不登校の子供の保護者であればだれでも自由に参加できる保護者の会を設置し、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーを派遣し、保護者を支援していくことが必要だと思うが。

答 教育長 保護者への支援は、不登校を減らすためにも重要だ。教育委員会では、家庭教育支援チームあすなろ、子ども・若者サポートネット、教育相談員による教育相談が行われている。また、不登校児・不登校傾向児の親の会、ほっこりサロンを平成26年から開始している。

問 教室に行きづらくなった児童・生徒が校内で落ち着いて学習できる環境、スペシャルサポートルームを本町の小・中学校に設置する必要があると思うが。

答 教育長 勝央中学校と勝間田小学校で設置し、勝央北小学校は児童数と教室の関係で設置していない。

問 不登校の子供をオンライン指導できる体制の確立が必要では。

答 教育長 不登校であってもインターネットで、学校とつながるようにしていきたい。

問 不登校生徒の高校進学支援状況と今後の対応は。

答 教育長 不登校の生徒が別室等で補習や進路指導を受けた結果ほとんどの生徒が高校へ入学した。ただ、自分に合う通信制高校への進学が多く見られる。今後も学校、行政、地域で支援していきたい。



▲勝央中学校のサポートルーム

質問 熱中症予防対策は

答弁 広報紙・無線放送・メール 配信で注意喚起する

問 熱中症から町民の生命を守るための取り組みは。

答 町長 熱中症予防対策は、広報紙・無線放送・メール配信等で啓発する。また、小・中学校、保育園は施設で、高齢者は訪問等の機会を利用して注意喚起する。

問 高齢者へ予防意識を高める取り組みは。

答 町長 訪問事業等の組織体制を再編した。今後はスタッフも増え、訪問してのチラシ配布、水分補給の奨励等で注意喚起を促す。

問 高齢世帯のエアコンの整備や点検を促す取り組みも必要では。

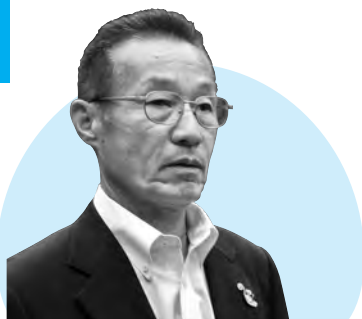
答 町長 個別訪問・高齢者の集い・ぐるっと筋力アップ教室・認知症カフェ



▲熱中症予防対策で健康な毎日を

問 小・中学校、保育園の取り組みは。

答 教育長 適切な運動時間、十分な睡眠と水分補給の指導、保健だよりによる啓発。勝央北小学校では塩分タブレットの配布、勝間田小学校は登下校に日傘使用可の指導など。



片山 謙三 議員

質問 自転車ヘルメットの着用普及促進を

答弁

周知活動をする

問

改正道路交通法の施行により、令和5年4月1日から自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化された。老若男女問わずヘルメットを着用することで、もしもの時の危険率は減少する。町民の着用率向上のための施策を問う。

答

町長

無線や広報紙などの広報媒体を使って周知活動することになる。広報4月号にもこの記事を掲載した。学校・保育所・地域・家庭などで声掛けしみんなで取り組むことが大事であると思う。

答

教育長

中学校の自転車通学の生徒だけでなく、小学校の児童や家庭においてもヘルメットを着用するよう、児童・生徒、家庭に呼びかけている。中学校の取り組みは、4月に新入生に対して警察署から講師を呼んで、交通安全教室で自転車の乗り方、ヘルメット着用の大切さを指導した。また、毎日下校時に自転車置き場の指導や月1回登校時、PTAによる交通指導も実施している。小学校は学校だよりや交通安全教室でヘルメット着用を指導している。



▲自転車用ヘルメットを着用し頭部を守ることが重要

質問

あいさつ運動の取り組み普及に向けさらなる啓発を

答弁

全町民であいさつ運動をする必要がある

問

教育委員会では「あいさつの町 勝央町」を目指してあいさつ運動を行っているが、これに至った経緯、現在の活動内容と今後の取り組みは。

答

教育長

昭和61年からPTA、学校教育委員会等で標語を募集し、あいさつ運動に取り組んできた。最近では一部の子どものしでかでないという指摘がある。あいさつのできる子どもを育てるためには全町民であいさつ運動をする必要があるという意見がPTA連合会、学校運営協議会からも出た。本年度、教育委員会・学校・PTAで取り組むことになった。このたび町民の方々へも広報紙、防災無線でお願いした。今後は、子供たちにあいさつの意義を教え、

問

答

教育長

ポスターや作文による啓発活動、そして生徒会や児童会を中心にあいさつ運動を進めていきたい。具体的には学校やPTAの取り組みは。PTAの会合があるときには家庭でのあいさつの必要性や重要性を話していきたい。また、勝央町は交通安全指導があるのでここでも率先してあいさつしてもらい子どもたちにあいさつが根付くようになればよいと思っている。

問

答

教育長

登下校時に地域の方からの声かけの対応についてどのように指導しているか。知らない人から声をかけられたとき防犯上連れて行かれないために返事をしたらいけないという指導が何年前にあったが、知っている人や近所の人というのが分かれば子どもたちもあいさつをすることは必要である。



▲あいさつ運動の輪を広げよう！

質問 給食費とランドセルの無償化はできないか



水島 孝 議員

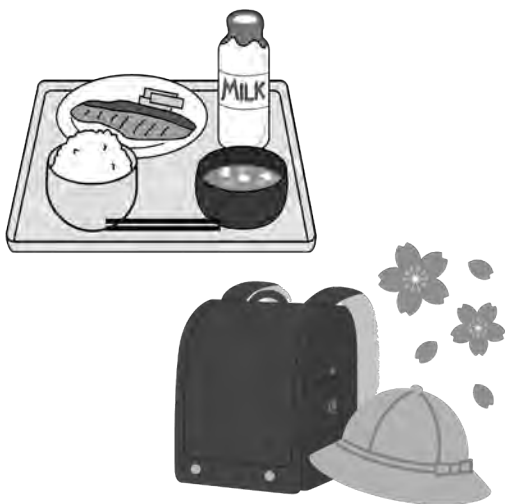


回答 現状考えていないが何らかの支援は考えたい

問 給食費無料化とランドセル無料配布を実施した場合の費用を示せ。

答 町長

給食費無料化の場合は、保育園・小学校・中学校合計で約7,700万円だが、現状でも町費で補助しているので合計はもう少し増える。また、保育園の給食無償化に関しては、通園していない子供にも同様の支援を考慮すると8,800万円程度が必要となる。ランドセル無料配布は1年に100人から110人が入学するので500万円から550万円と見込まれる。



▲無償化に舵をとれるか

問 無償化に対する町長の考えは。

答 町長

給食費無料化は難しいが何らかの支援は考えたい。ランドセル無料配布については以前、同様の質問があり経済的に厳しいご家庭もあるとの意見を伺ったが、要保護の新入学児童に対する学用品の支援や支給制度もあるので、それを利用してほしい。

質問

タクシー利用券の配布はできないか



回答 様々な意見を考慮しトータル的な施策を実施したい

問 要介護で1人では外出に困っている方に上限5,000円のタクシー利用券の配布はできないか。

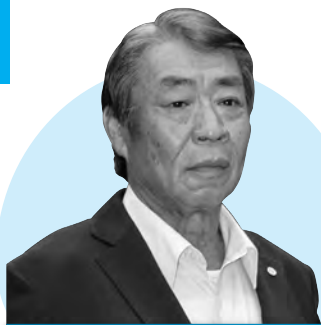
答 町長
アンケート調査に

おいてタクシー利用券の配布・ふれあいバスの利便性向上・デマンドバスの導入等様々な意見をいただいている。要介護の方だけでなく免許がない方々の交通手段等も考慮

し、トータル的な施策を今年度中に検討し、令和6年度には何らかの形で対応したい。



▲タクシー券を含め検討中の公共交通のあり方



森本 孝道 議員

質問 小・中学校の環境整備を進めてほしい

答弁

優先順位をつけて対応する

問

以前、中学校の駐輪場から校舎までの階段に屋根を設置する質問に対し部分的に検討するとの答弁であったが、その後どうなったか。

答

町長

屋根の設置について見積りは6,000万円程度であった。中学校全体の環境整備を平成31年から段階的に外壁や雨漏り対応を行っており、今年度と令和6年度はこちらを優先したい。

問

優先順位を早くできなにか。

答

町長

現在の見積内容でも厳しいと考えている。もう少し安価で強度と安全性が確保できる構造や工法を研究したい。

問

今年も猛暑となりそうだが、熱中症予防として水分摂取が重要となる。以前にも質問したが、各校に冷水器を設置できないか。

答

教育長

冷水器については在校時間の短い小学校には衛生上の問題もあり必要ないと言われている。中学校は在校時間が長く部活動等もあり、熱中症

問

が心配される。まずは1台設置するよう予算・設置場所の検討をするよう指示している。小学校にも設置できないか。

答

教育長

小学校は水筒1本で足りているようだ。また、衛生上の懸念を学校側も示している。まずは中学校の状態を見て検討したい。



▲生徒が毎日通う長～い階段

質問

急激な天候変化へ町独自の対応は

答弁

災害が予想される事態は早めの注意喚起を心がける

問

大雪・ゲリラ豪雨・線状降水帯による大雨・台風など急激な天候変化による災害が多発している。町独自の注意喚起を導入してはどうか。

答

町長

現状は気象台や県危機管理課から事前に情報が早めに入るシステムとなっている。警報等については独自に発信はできないが、予報により災害が予想されるような事態については注意喚起として独自の発信に心がけたい。



▲大雨で増水した滝川

質問 有機農業推進の取り組みは



浅田 剛至 議員

酪農家との連携が必要

答弁

問 町長
うちアグリスポット利用

答 町長
アグリは、アグリ運営は第三セクターではあるが、これ以上の赤字は好ましくない。地域農地保全の観点からも有機農業に対し支援をしていく。

問 町長
化学肥料の高騰もあり有機堆肥の利用が必要となる。アグリの堆肥部門は赤字であるが、利用量の増加により改善すると思うが。

答 町長
町にある程度の面積の確保を求める細かい取り決めはないが、有機農業推進が大事と考えている。町としては(有)アグリスポット(以下アグリ)の機能を拡充し、農業者と連携をとりながら進めていきたい。

問 町長
県と県内27市町村は「岡山県みどりの食料システム戦略基本計画」を策定し、2030年までに有機農業を実現する耕作面積を拡大する目標を掲げている。今後町の取り組みは。

が6戸。現状では希望する全ての農地へ散布する量は足りない。堆肥生産酪農家との連携が必要と考える。



▲有機農業に必要な堆肥処理施設

問 町長
県で認定を受けた団体には堆肥散布機の補助制度がある。アグリスポットは対象になるのか。

答 町長
補助事業の対象団体認定は難しい。

質問 隠れ待機児童は解消されたのか

答弁

今年度は19人

岡山県内の隠れ待機児童数 (2022年4月1日時点)

市 町	隠れ待機児童数
岡山市	464
倉敷市	542
津山市	41
玉野市	1
井原市	13
総社市	152
備前市	14
瀬戸内市	35
真庭市	9
浅口市	7
和気町	1
早島町	9
里庄町	18
勝央町	19

▲待機児童ゼロ、でも隠れ待機児童19人

問 町長
希望の園に入園できず幼稚園の預かり保育等を利用して待機児童に計上されない「隠れ待機児童」が2022年勝央町で19人と示されていた。今年度は解消されたのか。

答 町長
希望の園に入園できず幼稚園の預かり保育等を利用して待機児童に計上されない「隠れ待機児童」が2022年勝央町で19人と示されていた。今年度は解消されたのか。

問 町長
希望の園に入園できず幼稚園の預かり保育等を利用して待機児童に計上されない「隠れ待機児童」が2022年勝央町で19人と示されていた。今年度は解消されたのか。

答 町長
希望の園に入園できず幼稚園の預かり保育等を利用して待機児童に計上されない「隠れ待機児童」が2022年勝央町で19人と示されていた。今年度は解消されたのか。



末菅 満江 議員

質問 企業連と協力して脱炭素に向けた取り組みを

答弁

話し合いの機会を持ちたい



▲西日本でも有数の規模を誇る勝央工業団地

問 勝央町は工業団地に企業が立地して約40年になるが、同規模の自治体に比べ温室効果ガス排出量が多いとされている。企業もカーボンニュートラルに取り組まなければ会社経営に大きな影響があると考えている。そこで、企業連と協議会を設置し温室効果ガス削減に向けた取り組みを検討することが必要ではないか。

答 町長 CO₂削減については企業連・町内の一般の事業所・企業主・個人事業主など全ての人が取り組む必要があると思う。町も率先してCO₂削減に取り組んでいきたいので、企業連と協議を進めながら話し合う機会は持ちたい。

質問

生ごみ減量対策に補助金を

答弁

研究して効果があれば対応したい

問

可燃ごみ・資源ごみ・不燃ごみ・粗大ごみの排出量は。

答

健康福祉部参事
・令和4年度

可燃ごみ

約2,323トン

資源ごみ

約310トン

不燃ごみ

約37トン

粗大ごみ

約173トン

合計

約2,843トン

問

生ごみ処理機及びコンポストの購入に対し補助金交付をしてはどうか。

答

町長

現在勝央町では補助金は廃止している。コンポストを復活させてもいいと思う。生ごみ処理機はもう少し研究し効果があるようであれば対応したい。

問

可燃ごみとして処理される古紙を資源ごみになるよう、シュレ



▲コンポストの復活はあるのか？



▲シュレッターにも補助金の要望が

答

町長

ツダー購入に対し補助金の交付をしてはどうか。
シュレッターを使わなくても、古紙は資源ごみとして束ねれば出せ

る。ただ、個人情報部分は切り取るか何か工夫をして出すことになる。個々に対してシュレッターの補助を今のところする予定はない。

質問 地域医療と自治体の在り方は



丸尾 彰 議員

答弁

誘致は難しいが支援を検討する

問 健康で安心して暮らせるまちづくりのため、町内の医院・診療所や産婦人科・小児科の充実を国・県・大学病院等に要望する考えは。

答 町長 地域医療と自治体の在り方については全国的に大きな課題となっている。その中でも勝央町は比較的恵まれた地域と感じている。国・県からは3次救急病院へいきなり受診するのではなく、日ごろの健康状態はかかりつけ医で把握するように推奨している。

問 北部地域への医療機関や町内では1軒もない小児専門科や産婦人科を含め誘致できないか。

答 町長 医療機関が充実することは確かに我々にとっては良いことだが、逆に医療機関側の経営的なことを考えると誘致は難しいと思う。高齢者の通院に対する交通の支援や近隣の市等と小児科・産婦人科との連携等も含め検討したい。



▲地域医療と自治体の協力が今後の課題

質問 児童・生徒のLGBTQに対する教育は

答弁

性の多様性・ジェンダーフリーについて指導している

問 国会で議論されているLGBTQに対する教育はどのように対応するのか。

答 教育長 昨年教員用手引書・生徒指導概要が改正され性的マイノリティの児童・生徒の良き理解者となるよう努めること。いじめ防止対策推進法に基づき、いじめ防止等の基本方針にLGBTQについて教職員の正しい理解の促進や学校での必要な対応が盛り込まれた。勝央町においては中学校で女子のスラックス着用を緩和したり、出席番号を男女別でなくあいうえお順としている。変に生徒の好奇心を煽るようなことにならないよう人権教育として、性の多様性について指導するとともに、差別やいじめにつながらないようジェンダー

問 フリーに関する内容を指導している。
答 教職員への研修は、

答 教育長 社会の変化の中で人権教育や差別・いじめにならない形やジェンダーフリーについて教員相互で研修している。



▲クローズアップされている性的マイノリティ

議員は、お中元やお歳暮を出すことが禁止されています。

議会の動き

陳情・請願

陳情

民生文教委員会付託分
第I号
小人数学級の拡充及び教職員定数改善をはかるため2024年度政府予算に係る意見書採択の陳情
(提出者)
美作市川北664・2
岡山県教職員組合勝英支部
支部長 大恵 泰隆
(不採択)

議員の派遣

・3月6日
岡山県市町村振興センター
岡山県広域水道企業団運営協議会
國政議長・森本総務産業委員長
出席
・4月14日
勝央町役場
勝田郡議会議員協議会役員会
國政議長・浅田副議長・丸尾監査
委員・下山議会運営委員長出席
・5月10日
津山鶴山ホテル
美作地区町村議会議長会総会
國政議長出席

・5月16日
ザ・シロヤマテラス津山別邸
空港津山道路整備促進協議会総会
國政議長出席
・5月17日
サン・ビーチ岡山
岡山県市町村総合事務組合議会議員
選挙、岡山県町村議会議長会総会
國政議長出席
・5月23日
東京「国際フォーラム」
全国町村議会議長・副議長研修会
國政議長、浅田副議長出席
・5月27日
和気町
吉井川総合水防演習
國政議長出席
・5月30日
津山市役所
岡山県北森林・林業活性化促進議員
連盟総会
浅田副議長出席

例月出納監査

令和5年2月分から4月分について、いずれの月も適正な事務処理であったとの報告があった。



勝田郡議会 議員協議会総会

日時…令和5年5月18日
午前11時～12時
場所…おかやまファーマーズ・
マーケット
ノースヴィレッジ
内容…令和4年度事業報告及び
決算について、令和5年
度事業計画及び予算につ
いて協議し、原案のとお
り可決。



議会用語 Q's & A's

議会や議員、行政に関する用語の解説です。今までの情報・知識を再確認してください。今後更により多くの理解とご協力をよろしくお願いします。

常任委員会 って何？

議会の議決により付託された事務に関する調査及び議案、請願、陳情等を審査する。付託される議案の有無にかかわらず常設され、議員は少なくとも一つの常任委員会に所属する。勝央町議会委員会条例により2つの常任委員会を置いている。

- * 総務産業委員会
- * 民生文教委員会

民生文教委員会	総務産業委員会
委員長 下山善則	委員長 森本孝道
副委員長 佐藤誠志	副委員長 岡本良規
委員 國政敏明	委員 浅田剛至
委員 末管満江	委員 水島孝
委員 丸尾彰	委員 石浦長年
委員 片山謙三	

▲常任委員会の構成

勝央町パワースポット紹介

ゆう や はち まん じん じゃ

遊屋八幡神社

《黒坂地内》



神楽殿併設の本殿



創立：平安時代の貞観2年
(西暦860年)

御利益：安産守護・家内安全・
五穀豊穰・交通安全



説話:1610年鶴山城主森忠政の息女難産に悩み平癒(へいゆ)祈願を行い無事男児が生まれたと伝わる。この時の子が2代藩主森長継。拝殿内にはこの時の様子を描いた祈願開きの額があり、以後安産の守護神として崇敬者多く、近年まで近隣で有名な産婆さんがいた神社です。



必見! 参道前の石垣 (月・陽・扇)



【編集委員】
委員長 片山 謙三
副委員長 下山 善則
委員 森本 孝道
岡本 良規
佐藤 誠志

議会だよりをお読みいただきありがとうございます。また、誌面づくりにおいて協力いただく関係各位に感謝申し上げます。

さて新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症になり、祭・イベント等徐々に再開され、天神涼みの「おっつあん、おっつあん、だんじりじゃー」の勇ましい声が聞こえる以前の生活に戻ることを望むばかりです。

酷暑続く時節柄、熱中症に注意し御自愛いただきますようお願いしています。

(岡本)

編集後記

議員は、お祭りへの寄付や差し入れが禁止されています。